



## 季節風はどんな風なの

### 季節のちがいでふく風

風には、いつも小さきみに変わってふく風、山と谷の間にふく風、海と陸の間にふく風のほかに、高気圧や低気圧、台風による風、季節のちがいによってふく風など、いろいろな種類があります。季節のちがいにより、風の向きが変わる風を季節風といいます。

### 海風や陸風

水は、暖まりにくく、冷めにくい性質をもっています。陸地は、太陽の熱を受けると、海よりも暖まりやすいので、陸地の上の空気が、暖められて軽くなり、上にのぼります。すると、海の上の空気は陸へ向かって流れ出し、昼は、海から陸へ風がふきます。これを海風といいます。

夜は、陸地よりも、海の水のほうが冷めにくいので、陸地の上の空気よりも、海上の空気のほうが、暖かくなっています。すると、陸から海へ向かって空気が流れ出し、陸から海へ風がふきます。これを、陸風といいます。

### 日本付近では、夏は南東の風が、冬は北西の風がふく

昼と夜に起きる海風と、陸風の規模を大きくしたものが季節風です。

北半球の夏は、海よりも大陸のほうが暖まりやすいので、海から大陸へ向かって風がふきます。太平洋から大陸へ南東の風がふきます。

冬には、大陸は海よりも冷えこみが大きく、大陸の空気よりも海の上の空気のほうが暖かいので、大陸から海に向かって風がふきます。

日本付近では、夏は南東の暖かい風、冬は北西の冷たい風がふきます。

(監修・村山 貢司)

